

「中国特許における実務的な調査方法 および調査結果の戦略的な応用」

膨大な特許出願の中から関連する特許を調べ、分析を行う重要性が益々高まっている中、中国の市場規模が日増しに拡大しており、日本企業は中国市場での特許戦略を重視し、中国での経営戦略を展開するための知識産権を確保する必要があります。そのため、競争相手の（特許戦略を含む）動きを調査し、事前に相応の特許戦略を十分に策定することが非常に有益と言えます。

そこで、中国特許の調査と分析をしっかりと行うことが必要です。中国特許の調査及び分析を行う場合、どのような中国特許検索のインターネットデータベースがあるのか、それらデータベースの長所短所は何か等といった点を理解する必要があります。それによってデータベースの利用による特許の検索漏れを防ぐことができます。また、中国特許でよく見られるインターネットデータベース使用方法について詳しく紹介すると共に、中国特許データ調査の際に実用新案データにどう対応するか、実用新案特許の関連特許をどう処理するか等についても紹介いたします。さらに、データの検索・収集といった面の他に収集したデータを基に詳細な法律分析や特許構成の分析を行うことなどについて、中国の法律分析において注意すべき特許侵害判定の原則は何か、日本とは異なる特許侵害判定の状況にはどのようなものがあるか、特許情報と非特許情報に基づき、如何に立体的に競争相手の全体的な競争戦略、商品戦略及び特許構成戦略を還元するか等といった問題についても、今回のセミナーで詳しく紹介いたします。

【主催】 一般社団法人大阪発明協会 ※講義開始時間が変更になりました

【開催日】 平成27年7月27日（月）14:00～17:00

【開催場所】 大阪大学中之島センター 7階講義室702

大阪市北区中之島 4-3-53 06-6444-2100

【講師】 万 欣容 氏（北京康信特許事務所：弁護士・弁理士）

李 慧 氏（北京康信特許事務所：弁護士・弁理士）

【定員】 40名（定員になり次第締め切ります。）

【参加料】 会員 8,500円（一般12,500円）

（テキスト代含、消費税8%込）

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

①(1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3) 他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

